

算化した。

問 新駅以外の周辺整備に関する起債分は、どういう事業に充てるのか。

答 医大等の道は、起債が可能なものには起債で対応したい。補助金対応がない場合を想定し、最大で約12億円の起債を考えている。

問 周辺整備とは具体的には何をするのか。

答 東と西の道路整備である。事業の補助率等は。

答 慈明寺町四条町線の拡幅工事の予算規模は21億円、補助率55%で、起債対象でもあり単独費の負担は少ない。

公費ホテルと庁舎のあり方

問 NTTに年間約4千万円の賃貸料を支払い庁舎として借りているが、新分庁舎を建設時にその面積も含め設計すれば、今後NTT賃貸料を支払う必要がなくなる。市有地活用検討委員会の議事録に、防災の拠点としては万葉ホールは遠いので、NTTの建物を防災拠点とし借りてはという表現があったが、いつまでNTTの建物を借りるのか。

また、万葉ホールと畝傍御陵前の庁舎分も、こちら側に集めるのか。そうなると、空になった庁舎の跡地活用はどうするのか。総合的な計画を示してもらわないと、1, 100坪の土地に6千や7千平米の庁舎でいいという話にはならない。総合的な考えは。

答 NTTに借りている北館は、本庁舎の建設が進めば返し、平成32年度まで借りる。本庁舎の空きについては、現在の南館等に配置している課が入る。南館部分を取り壊し、新庁舎の建設を予定しており、仮設庁舎を建てることなく、スムーズに移転したい。万葉ホールは、市民文化ホールとして活用し、空いたスペースは貸し館等に利用したい。保健センターは、各課で空いたところの有効利用を図りたい。

問 平成32年以降は、NTTの建物を借りる必要がないと明言できるのか。

答 平成32年度には庁舎ができるので、それ以降借りるつもりはない。

問 本庁舎を96億の費用で丸ごと建て替えるという発想に変わりはないのか。それとも変更の余地はあるのか。

答 この庁舎は耐震化できるのか、それとも新築か、再調査したい。平成29年度を目途に庁舎南側の用地を取得し、その後、この庁舎の建て替えや再生等をしたい。

問 裁判等で用地取得に時間がかかると、事業年度は、少なくとも3、4年は変わると思うが、最悪の状況を想定した見通しは。

答 市民や働く職員の安全を考え、できる限り年度計画に従って進めたい。

問 来年の3月にPFI事業を含めた関係の議決が出る。来年10月頃には市長選挙があるが、PFIの議決を9カ月ずらすか、市長選を9カ月前倒しすれば、住民自身がこの事業に対して、〇か×かという意思表示をできるチャンス



市役所 北館 NTT

ができる。どちらかの形で調整できないか。検討は。

答 質問の意図は理解できないが、PFI事業の許可は今年中に出る。この事業は我々の地域にとって絶対に必要であるという決意のもとに事業展開している。

一般質問 松木 雅徳 (政志会) 防 災

問 昨年6月の定例会で防災等について質問したが、その後の公共施設、避難所、学校施設の耐震化事業取り組みについての進捗状況は。

答 災害時の避難所として指定している44ヶ所の施設のうち耐震性能保有施設は、39件。残り5施設のうち2件は耐震診断の結果、補強が必要で、今後残りの3施設の診断も含めてすべての避難所の耐震化を進めたい。学校施設の耐震化率は4月1日現在で小学校は89.1%、中学校は90.4%、幼稚園は95.2%となり、

192棟中、19棟が残っているが、市民の避難所となる小中学校体育館は、すべて耐震化が終了している。残りの施設は当初の計画どおり平成27年度には耐震化を終えるよう進める。

問 災害時の物的備えの決意と備蓄物資の現状は。

答 昨年、東竹田にできた安心パークを東北部地域の災害時の拠点施設とし、橿原運動公園の防災倉庫等を南西部地域の拠点とし、市の両端に設置していることを市民に周知しながら両方の拠点施設を更に充実させたい。備蓄物資は食料関係で約2万食を保有、その他救護用毛布、応急対策用ビニールシート、組み立て式トイレ、発電機と投光器等、応急対策に必要な防災資機材を備えており、今後も両施設に備蓄を進めたい。

問 久米町の桜川暗渠の耐震化の調査結果を地元で説明したのか。また、橋梁の長寿命化計画の進捗はどうか。

答 橋梁の長寿命化は現在4つの橋梁の修繕箇所の詳細設計を終えており、今年度は順次、修繕工事の実施を行う。平成27年度以降も詳細設計が